

ラスター編集・ベクター変換

よりきれいに！より正確に！

ラスターデータ補正・編集

1 歪み補正

メッシュ方式による補正、変形を行います。グリッドポイントの任意の追加、削除ができることにより、補正ポイントを確実に合わせることができます。

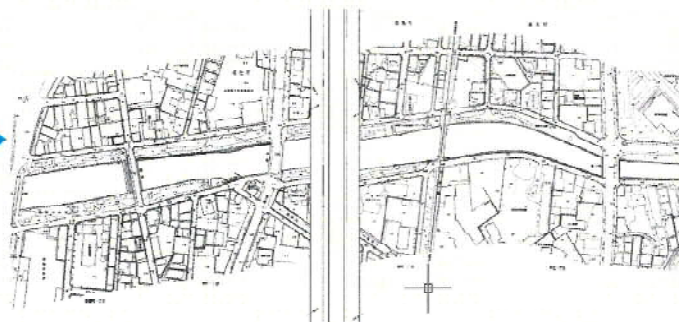
法線に合わせて、仮にメッシュを作成します。



2 接合

ラスターデータを複数枚表示する事ができ、1枚の結合したラスターデータの作成が可能です。

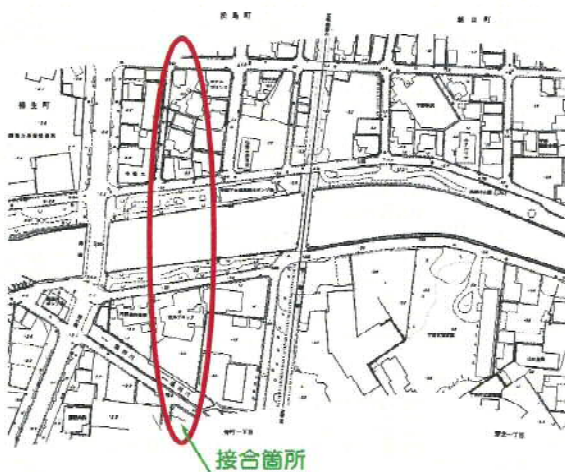
歪み補正後、複数枚の図面を1つのデータに並べます。



3 編集・削除

四角形、多角形、単一オブジェクト選択等により選択領域の追加・削除により幅広いラスター選択が可能です。

接合後、要らない線を削除して完成させます。



1 多点補正

座標の値の入力による補正、ポイントに合わせて補正を行います。

補正箇所が多いほど正確に補正します。

ラスベク変換

一括変換方式は、パラメータ設定により多種多様の図面に対応します。

追跡トレース

ラスターデータ上をヒットし線、円、円弧のベクターデータへ変換できます。追跡トレース機能でポリラインに変換することもできます。



ベクラス変換

作成したベクターデータやDXF/DWGファイルなどAutoCADに読み込んだベクターデータをラスターデータに変換することができます。

ベクターデータの色毎線幅を設定することができ、ラスターデータに太線（強弱）を付けることが可能です。